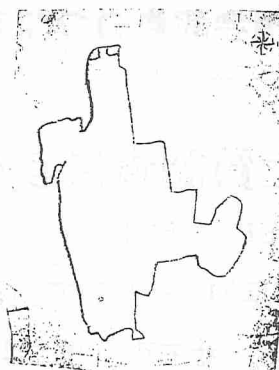


横田基地問題を考える会ニュース

第3号 (2009年1月)

連絡先 (電話&FAX) 042-531-3364 岩田

「会」のホームページ
yokota-peace.sunnyday.jp
ぜひみてね!
貴重な資料とスタッフを
求めています



日米軍事一体化が目的

航空総隊司令部の横田基地移駐

来年度、府中から移転してくる航空総隊司令部は、航空自衛隊の戦闘機部隊、ミサイル部隊、偵察部隊、レーダー部隊などを取り仕切る部隊です。

国から自治体への説明では、航空総隊司令部の他、関連部隊として、防空指揮群、作戦情報隊の合計600人が移ってくると説明しています。これらの部隊が移ってくる最大の目的は、日米一体化＝すなわち米軍の作戦行動に自衛隊も組み込んでいくための体制強化にあるといえます。そのため、総隊司令部棟は、在日米軍司令部棟と隣接して建てられ、しかもこの両庁舎が地下通路で結ばれることになっています(2008年12月23日付朝日)。

とすれば、双方が日常的に顔をつきあわせ、作戦調整や意見交換などコミュニケーションの促進・強化をはかれるからです。その大きな理由の一つに航空総隊司令官には、弾道ミサイル防衛で地対空ミサイルPAC-3やイージス艦から発射した大気圏外でミサイルを迎撃するSM-3、管制部隊一切を取り仕切る任務が与えられていると考えられます。(近森)

第2回 例会の報告

簡単なパンフの作成を!
航空総隊司令部移転の前に反対の共同行動を!

昨年十一月二十二日に昭島市の武蔵野会館で例会を開き、二十八名の会員が参加しました。一部の世話人を除き全員が発言しました。

「横田基地は身近な存在ではあるが、日常生活に具体的な障害を及ぼしていないので、私たち自身が鈍感になって、怒りを感じなくなっているのでは:」といった反省意見がありました。

「判りやすく、しかも市民の日常の言葉で書いた簡単なパンフを作成して普及したら:」という意見も。「二〇一〇年九月に府中から航空総隊司令部が横田に移駐してくる予定だ。その前に移駐と日米軍事一体化に反対する私たちの意思を何等かの形で示す共同行動を取り組もう!」

「この共同行動は私たちが『横田基地問題を考える会』や、『横田基地撤去を』目指す西多摩の会など、多くに呼びかけて幅広いものにしたいたい」などの意見ができました。

そのほか「残土の処分場見学の報告」(盛岡弁護士)と「横田基地での日米の軍事一体化の現状」(近森氏)が報告されました。

(清水多恵子の グラム島紀行)
アンダーソン基地 島の北部一帯を占有
—様子を窺うことも出来ない—

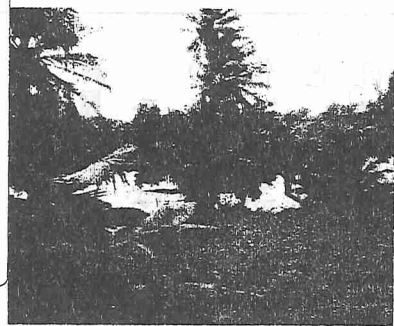
在沖海兵隊の移転先、米軍基地の島グアムの見学とは口実で無性にトロピカルな処が恋しくなり、南の島で充電してきた。十数年前にサイパン島の戦跡をめぐり、テナヤン島にひとまたぎ。ジャングルをかき分けて玉砕の島を実踏した。残るはグアム島。米合衆国カリフォルニア準州。形も大きさも淡路島

ぐらい。人口十六万人。チャモロ人、フィリッピン系、東アジア人と白人、が夫々約三分の一づつ。観光バスで島内を一周する。まずはチャモロ文化圏を訪問。マゼランの上陸地、スペインの要塞跡等スポットである。米国の入港地、日本軍の上陸地、再び米軍の占領地など車窓から眺める。溪谷を下り、

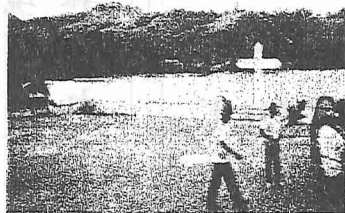
横井さんが二十八年間潜んでいたほら穴も見学した。島の北部一帯を占有するアンダーソン空軍基地はゲート前を通過するのみ。様子を窺い様もない。フェンスもなく亜熱帯灌木樹林の中をただ走るのみ。島の南西部に海軍基地があり、その東側山地帯に海軍弾薬庫がある。人様の住めるのは海岸沿いで、その住宅地に

も米軍基地がある。その上島の真中、一等地に米資本ホテルが建ち並び、ブランドショップが軒を連ねている。ツアアの最後に平和祈念館に寄る。各連隊の慰霊碑が十基程とお堂が建てられていて、ほぼバス満席の老若男女と共に、私と妹も御線香をあげ、お賽銭を投じて、戦争のない世の中を祈

った。ガイドさんに、まだこの島に遺骨が眠っている、早く日本に連れて帰って欲しいと、テナヤンの生き証人と同じことを言われた。



(グアム島の風景)



(例会報告のつづき)

土質調査はすべて民間任せ

昨年 9 月 19 日に「会」の 4 人の会員が、横田基地で行われている自衛隊航空総司令部移転工事で発生する残土埋め立て先3ヵ所のうち、青梅市成木の(株)ほんだ石産と日の出町大久野の太平洋セメント(株)の現場を見てきました。

どれも、大変大きな埋め立て処分場で、圏央道工事などで出る残土の受け入れが主で、横田基地の残土はそれの数分の一に当たる程度です。

太平洋セメントでは所長さんたちが、現場まで車で案内してくれましたが、運び込まれる残土の土質調査は、すべて民間の機関があらかじめ行った検査任せとのことでした。

横田基地の残土だけでなく、すべての残土について、このような土質検査のシステムで済ませて良いのかが大変問題だなと感じました。(盛岡)

(太平洋セメントの埋め立て現場を見降ろして)



お知らせ

例会 3月15日(日)
午後1時30分～
(昭島市昭和会館)

総会 4月25日(土)
午後1時30分～
(立川市民会館)

詳細は追って連絡します